

創造

JA いけだ
CREATION

十勝池田町農業協同組合 第28回 通常総会

今月号の表紙写真は、
4月20日（木）に行われ
た、「第28回通常総会」
の様子です。詳しくはP
2、3をご覧ください。



CONTENTS

- ※ 第28回通常総会開催
- ※ JA十勝池田町フェア
in 沖縄
- ※ みのり塾開講！
- ※ 21NEWS アラカルト
- ※ シリーズ 協同組合と報徳

- ※ グリーンアスパラガスの
出荷が始まりました！
- ※ 平成29年度農業労務日雇
協定賃金のお知らせ
- ※ 人事異動
- ※ JAグループ通信

- ※ 金融共済課より
- ※ 畜産部通信
- ※ 未来人
- ※ 今月の1枚
- ※ 理事会の動き
- ※ 編集後記

2017.

5
MAY

No.089

第28回 通常総会 開催



組合長挨拶

全議案原案通り可決承認了承

台風被害等により農業粗生産額は前年比10・7%減の60億1200万円
3年連続60億円台を確保

第28回通常総会が4月20日午前9時30分より西部地域コミュニティセンターにおいて開催され、全議案が原案どおり承認されました。

当日は、正組合員247名（委任状・書面議決書含む）が出席。そして各関係機関から来賓の皆様が出席して、開会宣言の後、JA綱領の朗唱、物故組合員への黙祷が行われました。続いて平成28年度農畜産物高品質多収穫共励会において9部門15品目で30名の成績優秀組合員の表彰と職員7名の永年勤続表彰が行われました。

鈴木組合長の挨拶の後、来賓の池田町長・勝井勝丸様、十勝総合振興局産業振興部農務課長・勝藤彰様、連合会を代表して北海道信用農業協同組合連合会帯広支所長・吉原裕貴様より祝辞を頂きました。

議長には坂東敦氏（利別）と北西啓造氏

（千代田東）が選出され、平成28年度事業報告、平成29年度事業計画を含む10議案について上程され、原案通り承認されました。

最後に青年部・甘利充部長と女性部・林真弓部長が「JA北海道大会決議事項の着実な実践に関する特別決議」決議文を読み上げ、平成29年度における大会決議事項の実践にあたり、農協改革集中推進期間の期限である平成31年度まで残り2力年との危機感を共有し、組合員・JA・連合会・中央会がそれぞれの役割を再確認した上で、力強い農業と豊かな魅力ある農村の実現を目指し、JAグループ北海道が一丸となり自己改革を着実に実践していくことを決議しました。

（記事・営農部長 竜川正之）



決議文読み上げ
左から林真弓女性部長、甘利充青年部長



議案審議の様子



理事 稲垣勝義



理事 塚谷 亨



理事 増野隆教

新役員



監事 赤松明彦



監事 神谷雅之

代表理事組合長	鈴木雅博	筆頭理事	十河 学	常務理事	大塚 節	信用事業担当理事	折笠大輔	理事	林 忠司	八田 英司	多田 彰弘	増野隆教	塚谷 亨	稲垣勝義	代表監事(員外監事)	武田 茂	監事	久保 恵昭	神谷雅之	赤松明彦
												(新)	(新)	(新)					(新)	(新)

新役員体制
(敬称略)

JA十勝池田町フェア in 沖縄

3月19日に沖縄県のサンエー様のご協力を賜り、JA十勝池田町PR販売を那覇メインプレイス店・具志川メインシティ店の2店舗で開催致しました。フェア当日は、三連休の中日ではありましたが、会場は朝から多くのお客様で賑わいました。

十勝池田町農産物をPRするために生産者を代表して、ネバリスター部会から水上裕喜さん・守内駿さんに参加していただきました。「根張星・メークイン・インカのめざめ・玉ねぎ・ゆり根」の販売、試食では「根張星・インカのめざめ・ゆり根」を提供しました。根張星は年間を通じてサンエー様で試食販売を実施していただいております。根張星を知っているお客様からは、「一度食べてから、根張星のファンになった」・「いつも購入しているよ」、初めて食べたお客様からは、「普通の長芋よりも甘くて美味しい」など嬉しいお言葉を沢山いただきました。インカのめざめは「さつまいも？」と勘違いされるお客様が多いほど、甘さとホクホク感に驚いておりました。ゆり根は初めて食べるお客様ばかりで、ホクホク感が沖縄の島らっきょうに似ていることから、「天ぷらにして食べてみる」などと言って購入される方が多くいました。



那覇メインプレイス店
(写真中央、白の法被姿が青山地区・水上裕喜さん)



具志川メインシティ店
(写真中央、白の法被姿が千代田地区・守内駿さん)

サンエー様でのPR活動は今年で3年目を迎え、認知度は確実に向上していますが、今後も十勝池田町農産物の魅力を伝える活動が続けることで、より多くの十勝池田町ファンを作っていきたいと思っておりますので、生産者の皆様には積極的に十勝池田町フェアの参加をお願い致します。

最後になりますが、サンエー様・ワタリ様・そしてお客様から昨年の台風被害に対する励ましのお言葉やお気遣いをいただき、またフェア開催にご協力いただきましたこと重ねて感謝申し上げます。

(記事・農産課長 秋野健太)

みのり塾開講! ~第1期生 7名が入塾~

4月3日(月)農協大会議室にて「みのり塾」の入塾式が行われました。「みのり塾」は、池田農業の財産である若手農業者に、農業の歴史・基礎知識を学んで頂き、又、若手農業者どうしの連携を高める事を目的として開講致しました。

入塾式では鈴木組合長より「自分の生きがいや、仕事のやりがいを見つけてほしい。そして1期生の皆さんが一致団結して、より良い農家人生を送って頂ければ。」と話されました。

入塾式後は営農部営農課・長井課長より、「農協のあり方、農協設立の経緯」について、ホクレン資材事業本部農機燃料自動車部農業機械課・家納淳也調査役、ホクレン帯広支所農業機械課・四野見洋衛課長より「農作業事故防止」について講義して頂きました。(記事・営農課 杉山淳史)



講義の様子

第1回 みのり塾講義を終えて

千代田地区 長島正典 さん

私は、今回池田農協さんがみのり塾で就農経験の浅い人を対象に農業の勉強を主催すると知った時、これだと思いきうに入塾を希望しました。なぜなら私は、就農1年目で農業の基本基礎が無いと自覚していたからです。1回目の講義を終えたとき、改めてみのり塾に入塾を希望して良かったと思いました。そう思ったのは3つあります。

1つ目は、講師の方そしてスタッフの方々が基本基礎を懇切丁寧に講義していただいたことです。そして農業の基本基礎に沿いながらも受講生自らが学びたい科目や実習を提案でき、できる範囲で最大限考慮していただけるということです。講師の方そしてスタッフの方々が受講生の主体性を尊重していると感じました。

2つ目は、池田町の歴史を講義していただいた事です。先祖代々苦勞をして今の池田町の農業が在ると講義を受けた時、歴史の講義を聞く前より聞いた後の方が、故郷の池田町に対して、今まで以上に愛着心が湧き上がりました。そして池田町の歴史の連続性を知る事で、今私の立っている場所が少しだけ知った気がしました。

3つ目は、就農間もない農業仲間ができることです。就農してすぐは当たり前ですが、農業仲間も少なく、特に就農の浅い人は周りにはいなかったです。しかしみのり塾に来ている人たちは21歳から36歳と年齢の幅はあるものの、全員就農が1年から3年までの経験が浅い人たちばかりです。経験が浅い者同士の持つ悩みや疑問を多く共有していると思います。これから、みのり塾を通して少しずつそれらを受講生に話せたらいいなと思っています。

そう考えつつ、みのり塾で行われる講義や実習を全力で吸収したいと考えています。

入塾者 第1期生

千代田地区	長	島	正	典	さん
千代田地区	原			誠	さん
千代田地区	太	田	一	旗	さん
東台地区	村	瀬	冴	美	さん
東台地区	梅	村	信	輔	さん
川合地区	鈴	木		巨	さん
様舞地区	増	野	幹	也	さん

今後の予定

- 5月中旬 農業情勢・基礎知識
- 7月上旬 視察研修(一泊研修)
- 11月下旬 基礎知識・農業大学校での技能研修
(作業資格取得)
- 1月中旬 JAカレッジ研修
コミュニケーション講座
- 2月下旬 オリエンテーション・閉塾式

青年部集合写真



青 年 部

青年部春季研修

3月21日と22日の2日間の日程で青年部の春季研修が行われました。

21日は北広島市にある北海道新聞の印刷工場（本社工場）にて、工場見学を行いました。工場内ではスタッフさんから北海道新聞についての概

要を説明してもらった後、ビデオで新聞記事を制作してから印刷するまでの流れを視聴し、実際に夕刊が印刷されていく過程を見学しました。

その後、江別市にあるヤンマーアグリジャパンで工場見学を行いました。ヤンマーアグリジャパンでは最初会社概要について説明を受けた後に、工場内にある大形農機センターでジョンディーアのトラクターや作業機を見学しました。自分は海外で生産したトラクターや作業機は輸入してすぐ使えると思っていましたが、輸入した後は国内法規に合致した改修や品質チェックが必要だという事を学びました。

同日夜に札幌市内にあるアサヒビール園 羊々亭にて懇親会が行われました。懇親会では美味しい料理を食べつつ、部員たちとさらなる親睦を深めることが出来たと思います。

今回の研修では新聞や農機など農家にとっては身近な物を取り扱っており、より深く理解し見つめなおす良い機会になったと思います。これからは今まで以上に新聞や農機を活用し、技術を向上していきたいと思いました。

（記事・青年部員 増野幹也）

指導チーム

小麦の
現地研修会を
開催しました

指導チームと十勝農業改良普及センター十勝東部支所共同で、小麦の生育状況に合わせた現地研修会を4月3日（月）、5月1日（月）の2回開催しました。

研修会は小麦定点圃としてご協力いただいている圃場を会場とし、事前に行った調査結果報告と、今後の作業のポイントを紹介しました。当日はお忙しいなか、多くの方に参加いただき、とても活発な現地研修会となりました。次回は止葉期現地研修会を予定しております。

指導チームでは今後も定期的に圃場巡回を行い、早期の情報発信に努めてまいります。また、作物ごとの生育状況に合わせた現地研修会も開催予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

（記事・農産課 森平優子）

研修会の様子



研修会の様子



指導チーム

玉葱部会 育苗現地研修会

4月13日玉葱部会育苗現地研修会が開催されました。本研修会は部会発足当初から毎年続けられている事業です。各部会員の育苗ハウスを巡回し、生育・管理状況を確認し、情報の共有を図り、より良い玉葱生産に活かす目的で行われています。講師には十勝農業改良普

及センター十勝東部支所の樫村主査、小西普及員をお迎えし、ハウス巡回後には、今後の管理作業の注意点などの総評を頂きました。

本年の玉葱については、3月1日より播種が始まりました。本年は風が非常に強く、ハウス内の温度管理に非常に苦労しておりますが、各部会員の長年の経験を活かした管理により、総体的な生育は例年並みの状況です。

広報が発行される頃には、定植作業が終盤を迎えていることと思います。消費地に喜ばれる、より品質の高い玉葱を生産できるよう、部会一丸となり事業を展開して参ります。

(記事・農産部次長 新沼二郎)

地域コミュニティ

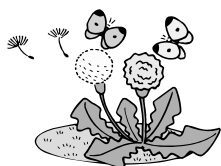
中小規模経営の発展にとって総合協同組合が大きな役割を果たしている一方、地域コミュニティも大きな意味を持っています。経営面から見ると、共同化や協業化、共同施設の相互利用など、地域での相互協力は規模のハンディを克服する有効な手段です。また、生活面では次世代を継ぐ子供の教育や文化活動など地域コミュニティの役割は重要です。

このコミュニティを維持発展するためには、「相互扶助・総合型」の協同組合が適していますし、この協同組合がコミュニティの維持・発展に不可欠な存在でもあるのです。そしてコミュ

ニティには「相互扶助」精神が根付いていて、協同組合の組織の基礎的価値観としても重要です。

協同組合は人間が創り出した人道（人為）の産物であり、その組織をつくる人々の力を結集するためには、共通の価値観が必要となります。相互扶助精神という地域に根付いた価値観が協同組合を強くする原動力となっていることは、各地の優良協同組合事例を見ても明らかなのです。

(北海道報徳情報
報徳生活読本より)



シリーズ
協同組合と報徳
No.32

グリーンアスパラガスの出荷が 始まりました!



アスパラ部会（穂田正也部会長）では、2戸のハウス生産者と、4戸の露地生産者で活動しております。3月下旬よりハウス栽培アスパラの出荷・販売が始まり、露地栽培のアスパラも例年通りであれば、5月中旬より出荷・販売が始まります。

池田町は昼夜の寒暖差が厳しいですが、そのおかげで甘くて柔らかいアスパラになっています。皆様是非、ご賞味ください。

産地直送! JA十勝池田町産のグリーンアスパラガスいかがですか?

採れたて新鮮! 味も抜群! 贈答用として喜ばれること間違いなし!

道内はもちろん、道外への発送も承っております。

○規格: 2L~M(混み)

○価格につきましては、取りまとめ用紙をご覧ください。

○ご不明な点がございましたら、Aコープ利別店・農産部農産課までお問い合わせ下さい。

※アスパラは気候によって収穫量が大きく変わります。新鮮なアスパラをお届けするため配達希望日はご指定できません。発送は5月中旬より行っておりますが、数量に限りがございます。お早めにご注文していただきますようよろしくお願い致します。



ご注文・お問い合わせ

Aコープ利別店 ☎572-2104
JA十勝池田町農産部 ☎572-4860

平成
29年度

農業労務日雇協定賃金のお知らせ

作業名	労賃	時間当	作業内容
春作業	6,500円	813円	芋切り、ビート間引き、ポット作り、補植、芋・ビート機械植え、野菜移植、苗取りなど
田植え	6,500円	813円	苗植え、補植
除草	6,500円	813円	除草
秋作業	6,600円	825円	豆刈り、脱穀、野菜収穫、ビート収穫
重作業	7,000円	875円	長いも・ゴボー収穫作業、豆積み、スコップ作業等の重作業
その他作業	6,300円	787円	芋選別、牧草収穫など

※時間外は

一律1,000円です

- ①多少の時間外については、支払はない。
- ②就業時間は、午前7時から午後4時30分、実働8時間とする。(午前・午後15分ずつ休憩。昼食時間は1時間)
- ③オヤツは500円以内とする。
- ④住所・氏名を事績報告書に記入し領収印を押してください。支払い賃金・オヤツ代は正しく記帳し、領収書の保存が必要です。
- ⑤この賃金表の適用期間は4月1日~3月31日です。

人事異動

平成29年5月8日付

()内は前職

【異 動】

- 畜産部長（営農部営農課長）……………長 井 勉
- 営農部次長（農産部次長）……………新 沼 二郎
- 営農部営農課長（購買部生産資材課長）……………今 井 敬 貴
- 金融部金融共済課共済課長（金融部池田支所課長）……………三 好 清 司
- 購買部生産資材課長（農産部施設課業務課長）……………遠 藤 泰 志
- 農産部施設課業務課長（畜産部畜産課長）……………梶 木 和 也
- 金融部金融共済課金融課長（金融部金融共済課長）……………石 丸 稔
- 管理部融資審査課長（管理部管理課）……………遠 近 恵 子
- 金融部池田支所課長（金融部金融共済課）……………穴 澤 美都恵
- 畜産部畜産課長（畜産部畜産課）……………米 川 武
- 農産部施設課（農産部農産課）……………鈴 木 耕一郎
- 畜産部畜産課（購買部給油課）……………岩 城 諒
- 金融部池田支所（金融部金融共済課）……………遠 藤 由 梨
- 畜産部畜産課（畜産部長）……………古 川 勇 一

※再雇用

平成29年4月28日付

【退 職】

ご指導いただき誠にありがとうございました。

- 畜産部畜産課……………長谷川 彰 大
- 金融部池田支所……………青 木 瑠 衣

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

本会北見支所が企画し、オホーツク地区のJA広報誌で連載している「今こそ！JA～その意義と役割～」をご紹介します。



JAグループを巡る報道が多くされる中、改めて私たち農業協同組合が果たす意義と役割を再認識するため作成しました。「協同とは」「日本の農協はなぜ出来たか」などをテーマとした、全12回の連載です。連載を通じて、組合員だけでなくJA広報誌を購読している地域の皆さんにも、私たちの成り立ちや活動内容を知ってもらい、共感して頂きたいと考えております。

JA北海道信連

平成20年度から、食と農業への理解を深めるきっかけとなることを願い、JAを通じて食と農のつながりを解説した教材本とDVDを道内の小学校へ贈呈しています。平成24年度からは特別支援学校も対象とし、今年度は全道1,086校に贈呈します。



本会から北海道教育委員会に対し教材の贈呈を行い、教材活用の協力を要請しております。

ホクレン

ホクレン女子陸上競技部は今年度の新体制について記者発表を行いました。足寄町出身の清水美穂選手を主将に内山千夏、加藤凪紗、河辺友依の新人3選手を加えた11名で全日本実業団女子駅伝や個人種目で目標達成に挑みます。今年は同部発足30周年。清水主将は「30周年にふさわしい結果を出せるようチーム全体で取り組みたい。個人ではマラソンで日本代表となれるよう頑張りたい」と抱負を語りました。



JA共済連北海道

農産物輸出を行う組合員やJAへの保障強化の観点から日本貿易保険と業務委託契約を締結しました。取引先の財務状況悪化等で代金回収不可能となった場合の損害を保障する「貿易保険」の保険料が10%引きで提供可能となります。また、農業散布用ドローン本体の損害と接触事故による損害賠償の保障「ドローン総合保険」を共同開発。4月より共栄火災で引き受けを開始しています。今後も組合員やJAの負託に応える保障提供に努めて参ります。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



金融共済課より

JAの自動車共済

H29.4月

弁護士費用保障特約

「もらい事故」等の自動車事故で相手方との交渉を弁護士に委任する際に必要となる弁護士費用等を保障します。

保障内容について

自動車事故（※1）によって被った身体・財物の損害について、被共済者が、法律相談を行う際や相手方に法律上の損害賠償請求を行う場合に、相手方との交渉を弁護士に委任する際等に必要となる費用（法律相談費用、着手金、成功報酬等）に対して、共済金をお支払いします。

（注1）ご契約のお車の運行に起因する事故（ご契約のお車が追突された等）、ご契約のお車以外の自動車の運行に起因する事故（歩行中に自動車にはねられた等）はあてはまりません。

（注2）記名被共済者またはその家族が所有する他の自動車に搭乗中の場合は保障しません。

（注3）前項・別項等が7等級以上の契約者について付加可能となります。

共済金の種類

共済金の種類は、「弁護士費用等共済金」とおよび「法律相談費用共済金」とし、これらの支払対象および共済金額については、次のとおりとなります。

共済金の種類	支払対象	共済金額（注）
弁護士費用等共済金	弁護士、司法書士、行政書士、裁判所等に対して支出した以下の費用 ※ 弁護士（司法書士・行政書士）報酬 ※ 訴訟費用 ※ 仲裁、和解または調停に要した費用 等	300万円
法律相談費用共済金	法律相談の対価として弁護士、司法書士または行政書士に支払われるべき費用	10万円

（注）1回の事故における被共済者1名についての共済金の額の上限を示しています。

留意事項

※弁護士等へ委任する場合および法律相談を行う場合は、あらかじめJAの承認を得る必要があります。

※弁護士費用等・法律相談費用については、「JAが認めた額」とします。



意外と多い！「もらい事故」



警察庁交通局から発表されている平成24年中の交通事故発生状況によると、事故類型の34.8%は追突事故です。約3件に1件は「もらい事故」となります。

警察庁ホームページデータより

特約掛金
1,390円
（一時払）

月額は120円となります。なお、利用車種、等級、年齢条件により若干の差額となります。

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際は、「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり（約款）」を必ずご覧ください。

JA共済ホームページアドレス <http://www.ja-kyosai.or.jp>

お問い合わせは

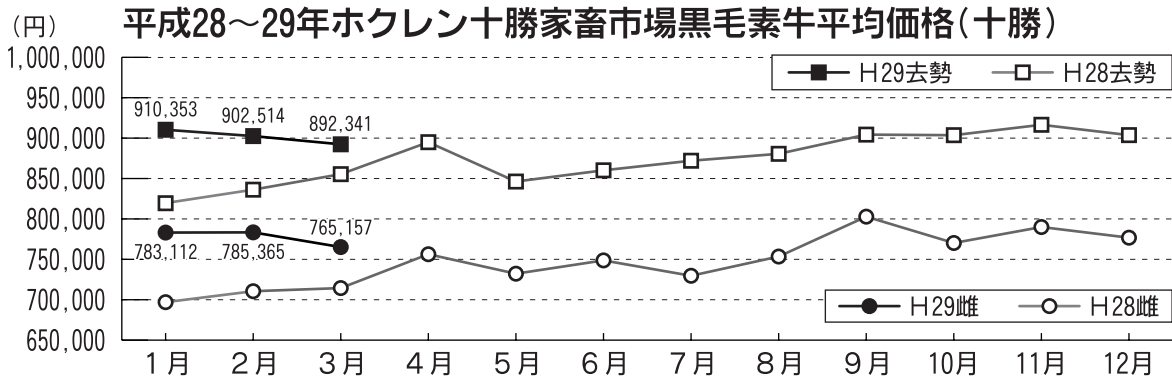
JA十勝池田町 本所 ☎015-572-3131
支所 ☎015-572-3132

17019990051



畜産部通信

畜産部
畜産課



3月黒毛素牛出荷区分別成績

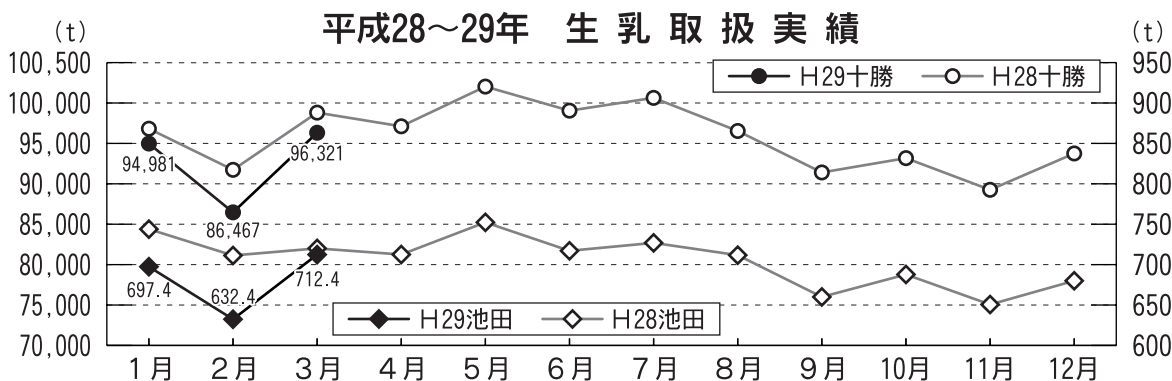
【金額(円)】

去勢	区別	取引頭数	平均価格(税込)	参加率・認定率
去勢	和牛素牛	664	892,341	
	マニュアル参加牛	422	900,096	63.6
	マニュアル認定牛	36	984,090	8.5
池田	和牛素牛	54	873,159	
	マニュアル参加牛	48	874,958	88.9
	マニュアル認定牛	4	947,160	8.3
十勝	和牛素牛	528	765,157	
	マニュアル参加牛	323	768,225	61.2
	マニュアル認定牛	16	855,495	5.0
池田	和牛素牛	19	775,440	
	マニュアル参加牛	19	775,440	100.0
	マニュアル認定牛	2	802,440	10.5

3月ホクレン十勝枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
4日	黒毛去勢	A-5	2,441
		A-4	2,340
		A-3	2,082
	黒毛メス	A-5	2,452
		A-4	2,290
		A-3	1,999
	F1去勢	B-3	1,332
		B-2	1,114
	F1メス	B-3	1,416
		B-2	1,171



3月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
1日	乳牛育成	441	573,130
6日	乳牛初妊	520	938,086
	乳牛経産	113	572,773
21日	乳牛初妊	496	1,003,793
	乳牛経産	138	499,641

3月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)
乳牛オス初生	112,501
F1オス初生	318,308
F1メス初生	220,789
廃用牛	179,803



清見地区

た だ りゅう や
多 田 隆 弥 さん
(26歳)



プロフィール

父・隆一さん、祖母・イツ子さんの3人で畑作・畜産を営む。帯広三条高校を卒業後、帯広畜産大学別科へ進学したのち就農。今年で就農6年目を迎える。

平 成28年度農畜産物高品質多収穫共励会（JA十勝池田町）にてネバリスターの部1位・てん菜の部1位に表彰された隆弥さん。「就農してから初めて1位で表彰されたので、とてもうれしかった。」と笑顔を見せる。

ネバリスターは隆弥さんが就農してから取り組んだ作物で、今年で作付5年目を迎え、始めは1haだった作付も、今年は倍以上の2・5haの作付をしている。「2・5ha作るのは大変だが、自分で取り組み始めた作物なので思い入れもあり、頑張りたい。」と意気込む。

隆 弥さんは黒牛を20頭ほど飼育し、基本的には隆弥さん一人で牛の管理を行っているとのこと。「畑はどんなに頑張っても天候に左右されてしまうが、牛は手をかければかけるほど答えてくれる。今は相場も高く、やりがいを感じる。」と話す。

4月に行われた、「十勝代表牛選抜会」にて隆弥さんの牛が候補牛に選抜され、6月に行われる、「北海道代表牛最終選抜会」に出場することとなった。この選抜会を勝ち抜くと、今年宮城で行われる「全国和牛能力共進会」への出場権を手にする。候補牛に選抜された隆弥さんは、「せっかくここまで進んだので、全共に出たい。まずは北海道代表牛選抜会に向けて頑張りたい。」と熱い思いを話す。

青 年部へは就農1年目に入部し、過去には支部長を経験している。「支部長を経験するまでは、正直、青年部活動にあまり参加していなかった。」と振り返る。しかし、支部長を経験したことで、「役員の方々が色々考えて活動計画を立てていることを知り、自分

も活動を盛り上げていきたいと思うようになり、なるべく参加するようにしている。」と話す。

最 後に、今年の意気込みを聞くと、「全ての作物を多く取りたいが、特にネバリスターは収量多く品質の良い物を取りたい。そしてまた1位を目指して頑張りたい！」と目を輝かせながら話してくれました。



理事会の動き

第 2 回

〈平成29年4月27日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 組合財務の現況について
- (2) 傷害共済の加入について
- (3) 平成28年度法人税等の納付について
- (4) 職員の懲戒処分について
- (5) 職員の人事異動について

★ 議 案 ★

- (1) 組合員の出資金持分譲渡承認願について
- (2) 理事報酬の配分について
- (3) 退任役員に対する退職慰労金の支出について
- (4) 行政庁に提出する業務報告書の承認について
- (5) 余裕金の運用方針及び運用方法について
- (6) 貸付金利率の最高限度並びに信用供与等限度額の設定について
- (7) 理事に対する資金の貸付について
- (8) 理事に対する豆の買取販売にかかる包括事前承認について
- (9) 理事の組合員勘定取引供給限度額の設定について
- (10) 畜産収益力向上緊急支援リース事業による機械取得並びに転貸について
- (11) 役員賠償責任保険の加入について
- (12) 組合員慶弔関係支出について
- (13) 池田支所における登録金融機関業務（国債窓販売業務）の廃止について
- (14) 地区懇談会の顛末とその対応について

★ 協 議 案 ★

- (1) 各種委員の割振りにについて
- (2) 平成29年度十勝農協連海外農業研修視察参加役員について
- (3) 平成29年度役員研修について

今月の1枚



健康第一ふまねつと教室！

今月の1枚は、4月24日（月）にふまねつとサポーターと社会福祉協議会の皆さんに集まっていたいただき、農協大会議室にて行われたこだま会ふまねつと教室の写真です。

ステップを間違えないように、歩行のバランスを取りながら楽しく運動をしました。

私はJA十勝池田町野球部に所属しております。現在10名の部員が在籍しており、今年6月に行われる、銀河線野球大会に参加する予定であります。最近？いや結構運動不足なので大会でケガをしないよう、エラーをしないよう、練習頑張りたいと思います。

広報5月号が皆様の手元に届く頃には、農作業でお忙しい時期だと思えます。4月は風が強く心配でしたが、5月は天候良く順調に作業が進んでいることを願います。（杉山）

編集後記